

ご近所の お医者さん

□
731
□

かい内科
クリニック院長

甲斐達也さん

＝大阪狭山市



たこつぼ型心筋症とは？

心臓の内部は、右心房・右心室・左心房・左心室という四つの部屋に分かれており、全身に血液を送り出す時は通常、左心室の心筋全体が収縮します。

しかし、たこつぼ型心筋症では左心室の下側の「心尖部」という部分の心筋が動かなくなり、その半面、上側の「心基部」という部分の心筋が過剰に収縮するという異常が起きます。この時の左心室の形がたこ漁で使われる「たこつぼ」に似ていることから、「たこつぼ

ストレスにご用心

原因はさまざまな説があり、中でも精神的・身体的ストレスをきっかけとした発症が多いことから、ストレスに関連する交感神経の異常が関与すると考えられています。女性の場合は精神的なストレス、男性の場合は身体的なストレスが発症の引き金になりやすいです。自然災害時にも発症が増えますが、明らかに誘因がない場合もあります。

たこつぼ型心筋症の症状は、突然の胸の圧迫感や動悸、呼吸困難などがあ

この病気の平均発症年齢は65歳前後、男女比は1対7となっており、特に高齢の閉経した女性に多く見られます。また季節的には夏に、発症時間は朝に多いと報告されています。発症の

り、その症状は急性心筋梗塞と非常に似ています。また、発症直後の検査所見でも急性心筋梗塞を思わせるような変化が起こります。しかしながら、この病気では急性心筋梗塞で見られるような冠状動脈（心筋にエネルギーを供給する血管）の異常はなく、特別な治療をする必要はありません。そのため、急性心筋梗塞との識別が必須となります。が、心電図検査や超音波検査だけでは区別が困難なため、多くの症例では診断に心臓カテーテル検査が求められます。

たこつぼ型心筋症は、前述の通り特別な治療法はなく、通常は時間の経過とともに自然に治っていくのを待つこととなります。まれに、▽急性心不全▽血栓塞栓症▽重篤な不整脈▽心破裂——などの合併症が生じることがあるので、ストレスをため過ぎないように気を付けましょう。